

2017年3月期 第2四半期 決算実績 概況資料

2016年11月9日

株式会社西武ホールディングス（9024）

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2017年3月期第2四半期までの
主な取り組み

P6

III. セグメント情報及び営業指標

P8

IV. 決算実績詳細

P20

V. 2017年3月期 連結業績予想

P24

2017年3月期第2四半期 決算実績

	2016/3期 第2Q実績	2017/3期 第2Q実績	対前年同期 (増減額・率)	2017/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)	(金額単位：億円)
営業収益	2,508	2,511	+3 +0.1%	2,540	△28 △1.1%	
営業利益	381	300	△80 △21.1%	281	+19 +7.1%	
償却前営業利益	579	518	△60 △10.5%	503	+15 +3.1%	
経常利益	342	293	△49 △14.5%	251	+42 +16.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	242	251	+9 +4.0%	209	+42 +20.5%	

決算実績ポイント

■ 営業収益

ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響（△54億円）や台風による天候不良の影響などがあったものの、運輸収入は増加し、既存ホテルはRevPARが上昇し、MICEも好調に推移。東京ガーデンテラス紀尾井町の開業効果や好調な建設事業も寄与し、増収。

▶ 3ページ

■ 営業利益

東京ガーデンテラス紀尾井町開業にかかる一過性費用の計上及びホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響などにより減益。

▶ 4ページ

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+0.3%（定期+1.2%、定期外△0.3%）

▶ 9ページ

<ホテル業>

RevPAR 11,171円（前年同期比+3.6%）
シティ11,845円（同+3.4%）、リゾート9,953円（同+4.7%）

▶ 11ページ

■ 経常利益

NWコーポレーション（当期より持分法を適用）にかかる持分法による投資利益の計上（一過性の要因）などにより、営業利益と比較して減益額は縮小。

▶ 20ページ

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

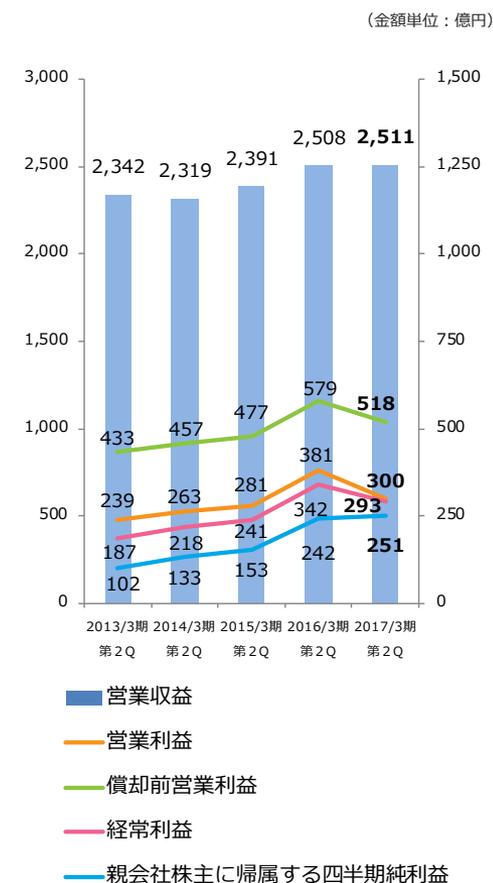
上記要因に加え、土地の売却を実施したことや、プリンスホテルにおいて繰延税金資産を計上したことで法人税等調整額が減少したことなどにより、前年同期比+9億円。

■ 業績予想

2017年3月期（通期）の連結業績予想を修正いたします。

▶ 24ページ

業績の推移



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2016/3期 2Q実績	2017/3期 2Q実績	対前年同期 (増減額・率)		2017/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	791	784	△ 6	△ 0.8%	798	△ 13	△ 1.7%	鉄道業において雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより運輸収入が好調に推移したものの、沿線レジャー業で一部事業所の営業休止及び夏季プール営業の不調や、バス業で前年同期に計上したバス共通カード未使用分受入額の反動減などにより、前年同期比で減収。対予想では、台風など天候不良の影響により減収。
ホテル・レジャー事業	936	929	△ 6	△ 0.7%	957	△ 27	△ 2.9%	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業や既存ホテルのRevPARの上昇のほか、MICEの好調な推移などによる増収があったものの、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪での耐震補強工事にとまなう営業休止の影響（△54億円）があり、前年同期比で減収。対予想では、RevPARが計画に届かず減収。
不動産事業	251	261	+10	+4.1%	257	+4	+1.9%	東京ガーデンテラス紀尾井町や既存のオフィス・レジデンスが好調に推移したことなどにより増収。
建設事業	427	475	+47	+11.1%	434	+41	+9.6%	土木工事やリノベーション工事、造園請負工事の増加などにより増収。
ハワイ事業	86	81	△ 5	△ 6.1%	101	△ 19	△ 19.7%	ハワイ島のホテルが好調に推移したことにより前年同期比でドルベースでは増収となったが、為替レートの変動により減収。対予想では、不動産売却の後ろ倒し（3Qに実施）により減収。
その他	226	226	+0	+0.3%	230	△ 3	△ 1.3%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより前年同期比で増収。対予想では、一部レジャー施設の不調などにより減収。
調整額	△ 211	△ 248	△ 37	—	△ 237	△ 11	—	グループ内工事の増加。
連結数値	2,508	2,511	+3	+0.1%	2,540	△ 28	△ 1.1%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 第2Q実績	2017/3期 第2Q実績	対前年同期 (増減額・率)		2017/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	161	158	△ 2	△ 1.8%	155	+ 3	+ 2.1%	減収により前年同期比は減益。対予想では、鉄道業において電気動力費が減少したことなどにより増益。
ホテル・レジャー事業	106	79	△ 26	△ 24.8%	68	+ 11	+ 17.5%	ホテルの耐震補強工事にもなう営業休止の影響のほか、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業経費の計上や退職給付費用が増加したことにより前年同期比は減益。対予想では、経費削減や水道光熱費などの減少により増益。
不動産事業	82	29	△ 52	△ 64.6%	16	+ 13	+ 81.5%	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町の開業にかかる一時的な費用の計上により、前年同期比は減益。対予想では、増収による増益と経費の減少により増益。
建設事業	10	19	+ 9	+ 92.6%	6	+ 13	+ 227.8%	増収による増益に加え、工事利益率の改善などにより増益。
ハワイ事業	△ 4	△ 5	△ 0	—	7	△ 12	—	ハワイプリンスホテルワイキキの改装に伴う費用の増加などにより、前年同期比で減益。対予想では、不動産売却の後ろ倒し(3Qに実施)により減益。
その他	23	21	△ 2	△ 11.3%	19	+ 2	+ 11.0%	西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費が増加したことにより前年同期比は減益。対予想では、経費削減などにより増益。
調整額	2	△ 1	△ 4	—	10	△ 11	—	
連結数値	381	300	△ 80	△ 21.1%	281	+ 19	+ 7.1%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 第2Q実績	2017/3期 第2Q実績	対前年同期 (増減額・率)		2017/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	261	258	△ 3	△ 1.3%	256	+ 2	+ 1.0%	
ホテル・レジャー事業	162	139	△ 22	△ 13.9%	129	+ 10	+ 8.4%	
不動産事業	103	67	△ 35	△ 34.0%	56	+ 11	+ 21.4%	
建設事業	11	21	+ 9	+ 82.3%	8	+ 13	+ 168.1%	
ハワイ事業	5	3	△ 1	△ 30.0%	17	△ 13	△ 77.5%	
その他	35	33	△ 2	△ 6.2%	32	+ 1	+ 5.2%	
調整額	△ 1	△ 6	△ 5	—	5	△ 11	—	
連結数値	579	518	△ 60	△ 10.5%	503	+ 15	+ 3.1%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 連結業績予想	P24

2017年3月期第2四半期までの主な取り組み

全体

- ・「東京ガーデンテラス紀尾井町（グランドプリンスホテル赤坂跡地開発計画）」グランドオープン
- ・外国人向け会員組織「SEIBU PRINCE CLUB emi」のサービス開始
- ・西武ホールディングスの株主優待制度を拡充
- ・訪日外国人観光客の誘客促進に向けた「2016西武グループメディアFAMツアー」を開催
- ・西武グループ 再就職支援ネットワークの構築などダイバーシティを推進

※FAMツアーとは「familiarization（＝慣れ親しんでいただく）ツアー」の略で、現地視察ツアーのこと。

都市交通・沿線事業

- ・観光電車【西武 旅するレストラン「52席の至福」】の運行開始
- ・特急レッドアロー号の車両内に「SEIBU FREE Wi-Fi」を導入
- ・新型通勤車両「40000系」で座席指定制直通列車の導入決定（2017年春予定）
- ・西武バス「学トク定期券」のI C化

ホテル・レジャー事業

- ・「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」オープン
- ・「東京プリンスホテル」「グランドプリンスホテル高輪」でリニューアル工事を実施中
- ・高輪・品川エリアの各ホテルのバリューアップ投資を推進
- ・「大磯プリンスホテル」の改装を開始（2017年春リニューアルオープン予定）
- ・海外営業拠点となる「ニューヨークオフィス」「シドニーオフィス」を開業

不動産事業

- ・オフィス、商業施設「紀尾井テラス」、住宅棟「紀尾井レジデンス」グランドオープン
- ・「所沢駅東口駅ビル計画」起工式を実施
- ・「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」で店舗独立型免税手続きサービスを開始
- ・西武新宿駅の高架下商業施設「アメリカン・ブルバード」が「Brick St.」としてリニューアルオープン

ハワイ事業

- ・ハワイプリンスホテルワイキキの全面リニューアルおよび名称変更（プリンスワイキキ）などのリブランド（2017年春リニューアルオープン予定）
- ・ハバナビーチプリンスホテルで資産の一部売却（連結決算上、2017年3月期第3四半期に実施）



東京ガーデンテラス紀尾井町



新型通勤車両「40000系」



ザ・プリンスギャラリー
東京紀尾井町



所沢駅東口駅ビル計画
イメージ

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 連結業績予想	P24

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	79,126	78,477	△ 648	△ 0.8%	
鉄道業	51,825	52,170	+ 344	+ 0.7%	雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより運輸収入が好調に推移し増収。
バス業	13,158	12,936	△ 222	△ 1.7%	前年同期に計上したバス共通カード未使用分受入額の反動減などにより減収。
沿線レジャー業	11,603	10,847	△ 756	△ 6.5%	一部事業所の営業休止及び夏季プール営業の不調により減収。
その他	2,537	2,523	△ 14	△ 0.6%	
営業利益	16,124	15,832	△ 291	△ 1.8%	減収による減益。
償却前営業利益	26,194	25,845	△ 349	△ 1.3%	

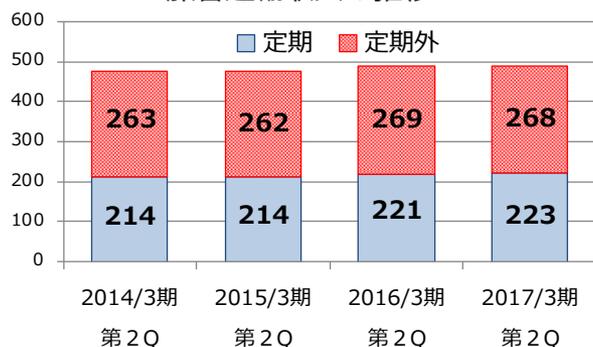
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2014/3期 第2Q	2015/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2016/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2017/3期 第2Q	対前年同期 増減率
輸送人員	定期	197,033	+0.3%	203,985	+3.3%	206,397	+1.2%
	定期外	120,307	△ 0.9%	122,446	+2.7%	122,140	△ 0.3%
	計	317,341	△ 0.2%	326,432	+3.0%	328,538	+0.6%
旅客運輸 収入	定期	21,487	△ 0.1%	22,128	+3.1%	22,389	+1.2%
	定期外	26,384	△ 0.5%	26,938	+2.6%	26,844	△ 0.3%
	計	47,871	△ 0.3%	49,066	+2.8%	49,233	+0.3%
運輸雑収	2,092	2,028	△ 3.1%	2,082	+2.7%	1,989	△ 4.4%
収入合計	49,964	49,750	△ 0.4%	51,148	+2.8%	51,223	+0.1%

（単位：億円） 旅客運輸収入の推移



- 定期
雇用情勢の堅調な推移により、前年同期比+1.2%。
- 定期外
沿線での積極的なイベント活動や特急料金の見直しを実施したものの、台風など天候不良の影響を受け、前年同期比△0.3%。

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	93,621	92,960	△ 661	△ 0.7%	
ホテル業 (シティ)	51,643	49,929	△ 1,713	△ 3.3%	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の開業や既存ホテルのRevPARの上昇のほか、MICEの好調な推移などによる増収があったものの、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪での耐震補強工事にともなう営業休止の影響 (△54億円) により減収。
ホテル業 (リゾート)	20,235	20,180	△ 55	△ 0.3%	函館大沼や箱根エリアなど、昨年度にバリューアップ投資を実施したホテルを中心にRevPARが上昇したものの、台風など天候不良の影響を受け前年同期比横ばい。
ゴルフ場業	7,229	7,350	+121	+1.7%	天候不良の影響を受けたが、レートコントロールの実施により増収。
その他	14,513	15,500	+986	+6.8%	前年7月の仙台うみの杜水族館の開業、アクアパーク品川のリニューアルなどにより増収。
営業利益	10,626	7,990	△ 2,635	△ 24.8%	ホテルの耐震補強工事にともなう営業休止の影響のほか、ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町開業経費の計上や退職給付費用が増加したことにより減益。
償却前営業利益	16,226	13,978	△ 2,248	△ 13.9%	

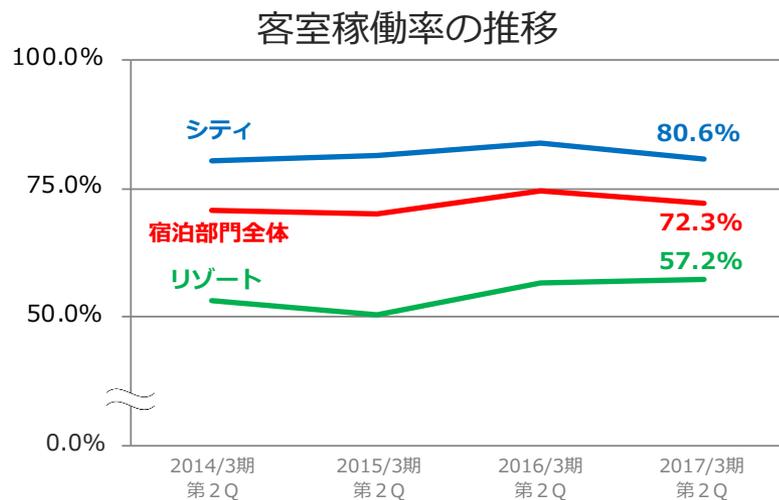
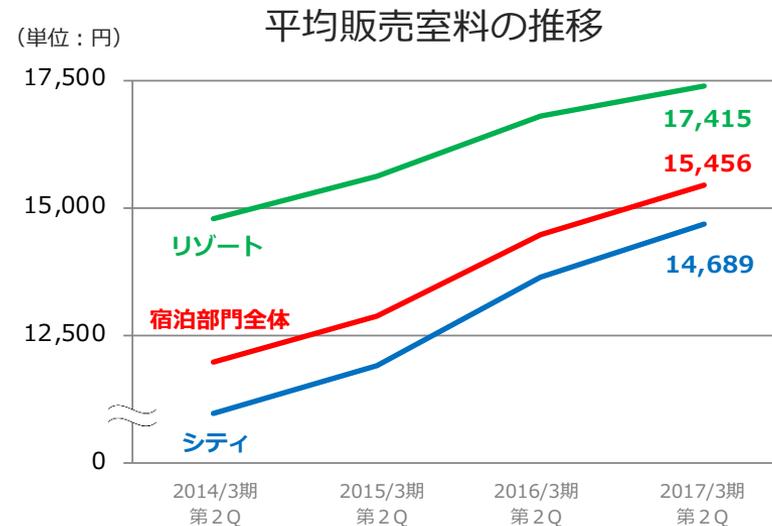
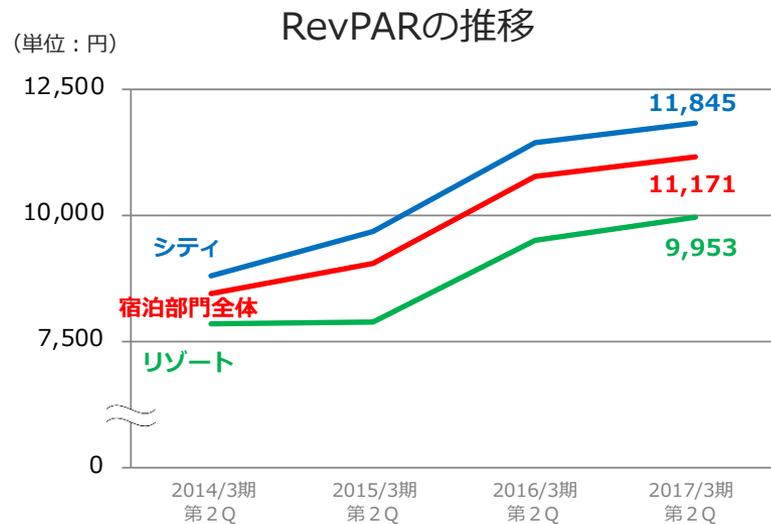
ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

（室料：円）

		2014/3期	2015/3期	対前年同期	2016/3期	対前年同期	2017/3期	対前年同期
		第2Q	第2Q		第2Q		第2Q	
RevPAR	シティ	8,807	9,695	+888	11,452	+1,757	11,845	+393
	高輪・品川エリア	9,009	10,115	+1,106	12,119	+2,004	12,825	+705
	リゾート	7,837	7,866	+29	9,502	+1,636	9,953	+452
	軽井沢エリア	16,622	19,942	+3,320	22,184	+2,242	22,060	△125
	宿泊部門全体	8,463	9,029	+566	10,784	+1,755	11,171	+388
平均販売室料	シティ	10,967	11,923	+956	13,653	+1,730	14,689	+1,036
	高輪・品川エリア	10,642	11,829	+1,187	13,839	+2,011	14,718	+879
	リゾート	14,790	15,624	+834	16,821	+1,196	17,415	+594
	軽井沢エリア	30,848	34,125	+3,277	34,645	+521	34,041	△604
	宿泊部門全体	11,984	12,892	+909	14,476	+1,584	15,456	+980
客室稼働率	シティ	80.3%	81.3%	+1.0pt	83.9%	+2.6pt	80.6%	△3.2pt
	高輪・品川エリア	84.7%	85.5%	+0.8pt	87.6%	+2.1pt	87.1%	△0.4pt
	リゾート	53.0%	50.3%	△2.6pt	56.5%	+6.1pt	57.2%	+0.7pt
	軽井沢エリア	53.9%	58.4%	+4.5pt	64.0%	+5.6pt	64.8%	+0.8pt
	宿泊部門全体	70.6%	70.0%	△0.6pt	74.5%	+4.5pt	72.3%	△2.2pt

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移



高単価な客層へのマーケットチェンジをはかったことにより平均販売室料が上昇し、RevPARが上昇。

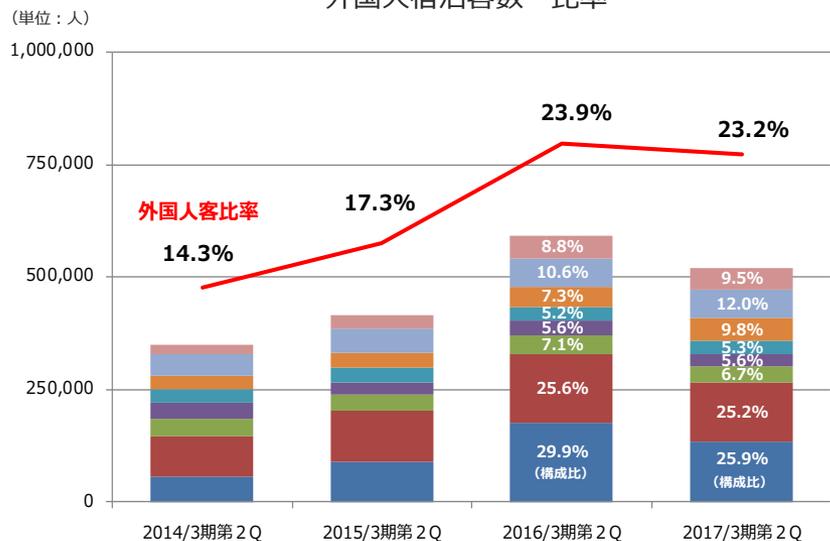
ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向①

(宿泊客数・室料収入)

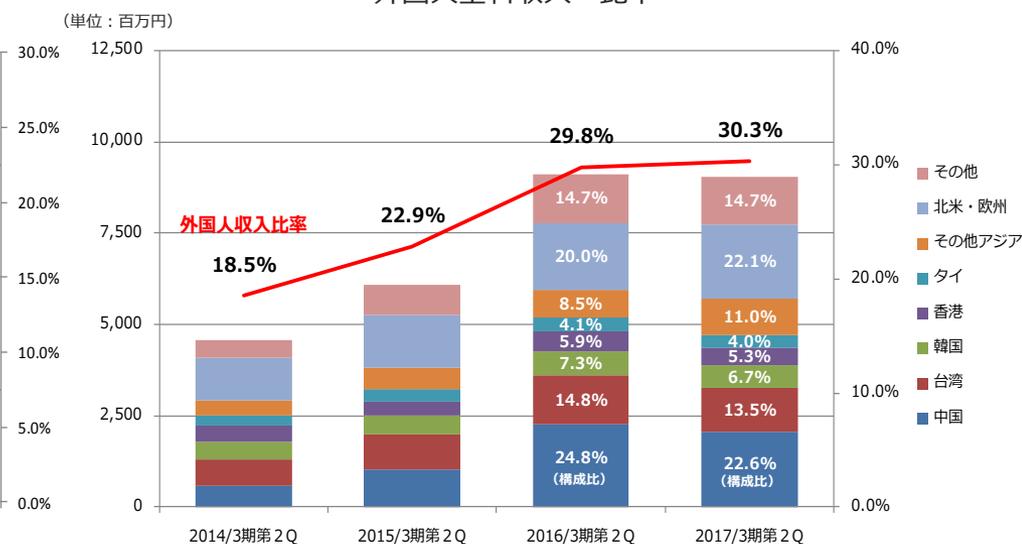
(人員単位：人、金額単位：百万円)

	2014/3期 第2Q	2015/3期 第2Q	対前年同期	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期
邦人客	2,096,299	1,992,525	△ 103,774	1,883,695	△ 108,830	1,725,178	△ 158,517
宿泊客の内訳 外国人客	349,042	415,467	+66,425	592,436	+176,969	520,656	△ 71,780
計	2,445,341	2,407,992	△ 37,349	2,476,131	+68,139	2,245,834	△ 230,297
室料収入 外国人客	4,573	6,079	+1,506	9,132	+3,053	9,060	△ 72

外国人宿泊客数・比率



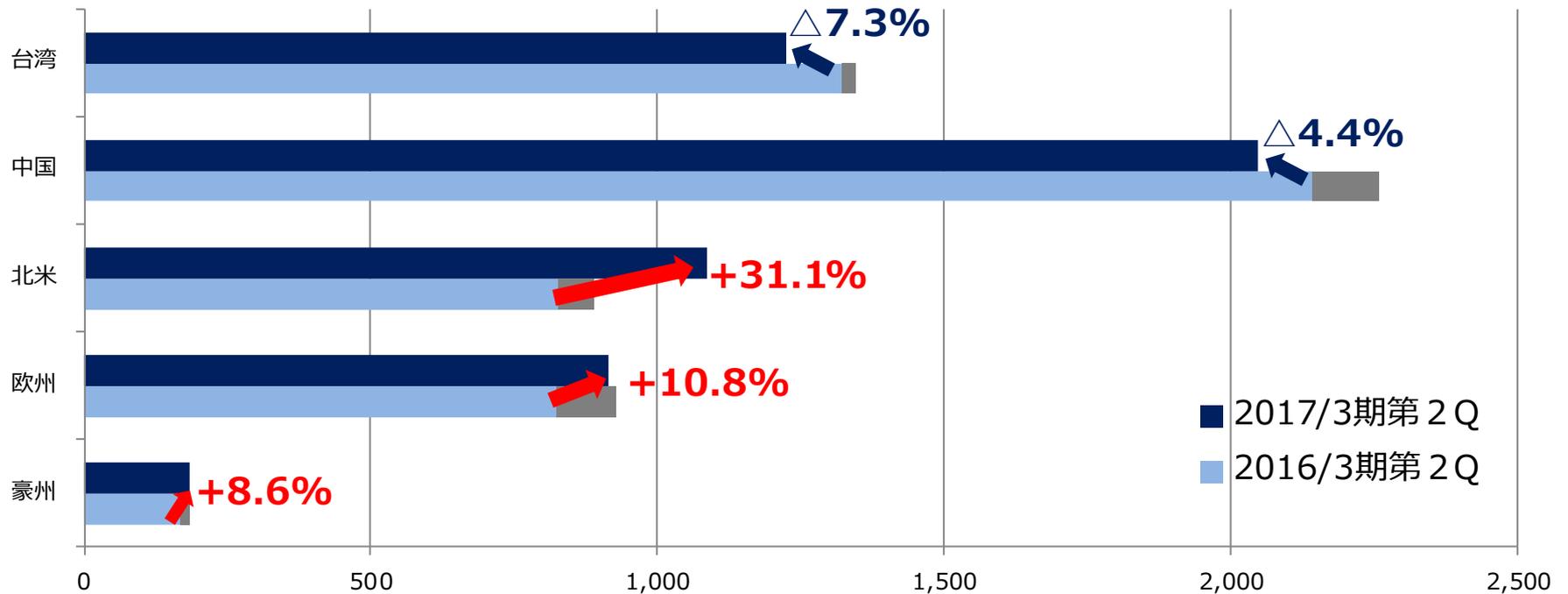
外国人室料収入・比率



ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向② (主な国・地域の外国人室料収入)

マーケットチェンジの一例として、室料収入ベース※で台湾(△7.3%)、中国(△4.4%)などアジアは減少する一方、**北米(+31.1%)、欧州(+10.8%)、豪州(+8.6%)**など、**より単価の高い地域が着実に増加**

主な国・地域の外国人室料収入※



※耐震補強工事にともなう営業休止の影響(グラフ内の■)を除いたベース

(単位: 百万円)

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	25,158	26,196	+1,038	+4.1%	
不動産賃貸業	15,899	17,169	+1,269	+8.0%	東京ガーデンテラス紀尾井町や既存のオフィス・レジデンスが好調に推移したことなどにより増収。
その他	9,258	9,027	△ 230	△ 2.5%	
営業利益	8,203	2,903	△ 5,299	△ 64.6%	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町の開業にかかる一時的な費用の計上により減益。
償却前営業利益	10,305	6,798	△ 3,506	△ 34.0%	

(面積：千㎡)

		2014/3期 第2Q	2015/3期 第2Q	対前年同期	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期
建物賃貸物件 の期末貸付面積	商業施設	207	226	+18	231	+5	237	+5
	オフィス・住宅	58	57	△ 1	58	+1	160	+102
建物賃貸物件 の期末空室率	商業施設	1.9%	2.0%	+0.1pt	2.2%	+0.2pt	1.1%	△ 1.1pt
	オフィス・住宅	9.3%	6.8%	△ 2.5pt	15.0%	+8.2pt	2.0%	△ 13.0pt

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	42,798	47,566	+4,768	+11.1%	
建設業	31,198	34,625	+3,427	+11.0%	土木工事やリノベーション工事の増加などにより増収。
その他	11,599	12,940	+1,341	+11.6%	造園請負工事の増加などにより増収。
営業利益	1,021	1,967	+945	+92.6%	増収による増益に加え、工事利益率の改善により増益。
償却前営業利益	1,176	2,144	+968	+82.3%	

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2014/3期 第2Q	2015/3期 第2Q	対前年同期	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期
期首繰越高	58,012	62,321	+4,309	84,335	+22,014	99,069	+14,733
期中受注高	39,363	45,142	+5,779	42,406	△ 2,735	40,812	△ 1,594
期末繰越高	73,003	75,979	+2,975	95,621	+19,642	105,340	+9,718

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	8,637	8,108	△ 529	△ 6.1%	ハワイ島のホテルが好調に推移したことによりドルベースでは増収となったが、為替レートの変動により減収。
営業利益	△ 485	△ 518	△ 33	-	ハワイプリンスホテルワイキキの改装に伴う費用の増加などにより減益。
償却前営業利益	546	382	△ 164	△ 30.0%	

ホテルの客室稼働率、平均販売室料

	2014/3期 第2Q	2015/3期 第2Q	対前年同期	2016/3期 第2Q	対前年同期	2017/3期 第2Q	対前年同期
客室稼働率	71.9%	70.7%	△ 1.2pt	72.9%	+2.2pt	70.9%	△ 2.0pt
平均販売室料 (円)	19,478	23,878	+4,400	28,940	+5,062	27,302	△ 1,638
平均販売室料 (米ドル)	223.89	234.10	+10.21	241.57	+7.47	248.20	+6.63

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	22,628	22,699	+71	+0.3%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収。
営業利益	2,377	2,109	△ 268	△ 11.3%	西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費が増加したことにより減益。
償却前営業利益	3,591	3,367	△ 224	△ 6.2%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 連結業績予想	P24

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期	摘要
営業収益	250,849	251,178	+328	都市交通・沿線：△6億円、ホテル・レジャー：△6億円、 不動産：+10億円、建設：+47億円、ハワイ：△5億円、 その他：+0億円
営業利益	38,143	30,098	△8,045	都市交通・沿線：△2億円、ホテル・レジャー：△26億円、 不動産：△52億円、建設：+9億円、ハワイ：△0億円、 その他：△2億円
営業外収益	1,136	4,995	+3,858	持分法による投資利益+37億円（21ページを参照）
営業外費用	5,002	5,786	+784	支払利息+5億円
経常利益	34,276	29,306	△4,970	
特別利益	731	4,283	+3,552	固定資産売却益+30億円
特別損失	1,629	1,980	+350	
税金等調整前四半期純利益	33,377	31,609	△1,768	
法人税等	9,062	6,344	△2,718	法人税、住民税及び事業税 △6億円 法人税等調整額 △20億円（プリンスホテルにおける繰延税金資産の計上 △28億円）
四半期純利益	24,315	25,264	+949	
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	84	△14	
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,216	25,180	+963	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期	摘要
営業利益	38,143	30,098	△ 8,045	
営業外収益	1,136	4,995	+3,858	
受取利息・配当金	360	394	+34	
バス路線運行維持費補助金	226	222	△ 3	
持分法による投資利益	17	3,751	+3,733	当期よりNWコーポレーションが持分法適用関連会社となったこととともなう計上（一過性の要因）
その他営業外収益	531	627	+95	
営業外費用	5,002	5,786	+784	
支払利息	4,803	5,310	+506	
その他営業外費用	199	476	+277	
経常利益	34,276	29,306	△ 4,970	
特別利益	731	4,283	+3,552	
固定資産売却益	294	3,367	+3,073	当期：土地売却（新杉田）
工事負担金等受入額	63	18	△ 45	
補助金収入	98	316	+217	
投資有価証券売却益	0	—	△ 0	
資産除去債務戻入益	273	—	△ 273	
その他特別利益	—	580	+580	
特別損失	1,629	1,980	+350	
減損損失	180	41	△ 139	
固定資産売却損	83	8	△ 74	
固定資産除却損	407	1,026	+619	
工事負担金等圧縮額	63	18	△ 45	
固定資産圧縮損	80	296	+215	
投資有価証券売却損	4	—	△ 4	
投資有価証券評価損	0	0	+0	
訴訟損失	715	3	△ 711	前期：判決確定に伴う訴訟関連費用の計上
その他特別損失	94	585	+491	
税金等調整前四半期純利益	33,377	31,609	△ 1,768	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2016/3期 期末	2017/3期 第2Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,553,092	1,559,477	+6,384	
流動資産	136,813	106,406	△ 30,407	受取手形及び売掛金 △6,466 その他 △24,795 (求償債権回収など)
固定資産	1,416,278	1,453,070	+36,792	有形・無形固定資産 +42,839 投資有価証券 △5,779
負債 合計	1,160,443	1,213,887	+53,443	
流動負債	317,855	348,099	+30,243	短期借入金の増加 +16,730 前受金 +3,585 その他 +18,685 (東京ガーデンテラス紀尾井町新築工事代など) 支払手形及び買掛金 △9,960
固定負債	842,587	865,787	+23,200	長期借入金の増加 +6,458 持分法適用に伴う負債+17,398 (NWコーポレーション持分法適用)
純資産 合計	392,649	345,590	△ 47,059	自己株式△52,684 (NWコーポレーションが保有する当社株式の当社グループ持分相当分を自己株式に計上) 為替換算調整勘定△8,160 利益剰余金 +21,184
有利子負債 期末残高	843,745	864,321	+20,576	
ネット有利子負債	821,328	844,541	+23,212	東京ガーデンテラス紀尾井町新築工事代の支払の増加など

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2017年3月期第2四半期までの 主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 連結業績予想	P24

2017年3月期 連結業績予想

金額単位：億円	2017/3期 通期予想	2017/3期 5月予想	対5月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
営業収益	5,171	5,142	+ 0.6%	5,080	+ 1.8%
営業利益	541	484	+ 11.8%	659	△ 18.0%
償却前営業利益	1,005	955	+ 5.2%	1,067	△ 5.8%
経常利益	485	407	+ 19.2%	585	△ 17.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	370	295	+ 25.4%	572	△ 35.3%

(注) 金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。

第2四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、平成28年5月12日に公表いたしました**通期の連結業績予想を変更**しております。

- **営業収益** 5,171億円
ハワイ事業における不動産売却や建設事業の好調な推移などもあり、前回予想から29億円上方修正。
- **営業利益** 541億円
増収による増益に加え、各種コストの減少などもあり、前回予想から57億円上方修正。
- **経常利益** 485億円（前回予想から78億円上方修正）
- **親会社株主に帰属する当期純利益** 370億円（前回予想から75億円上方修正）

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2017年3月期 連結業績予想

セグメント別 営業収益

	2017/3期 通期予想	2017/3期 5月予想	対5月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
都市交通・沿線事業	1,566	1,583	△ 1.1%	1,573	△ 0.5%
ホテル・レジャー事業	1,888	1,923	△ 1.8%	1,880	+ 0.4%
不動産事業	541	543	△ 0.4%	496	+ 8.9%
建設事業	1,122	1,036	+ 8.3%	1,049	+ 6.9%
ハワイ事業	232	209	+ 11.0%	193	+ 20.2%
その他	371	378	△ 1.9%	375	△ 1.2%
調整額	△ 549	△ 530	-	△ 488	-

(金額単位：億円)

セグメント別 営業利益

	2017/3期 通期予想	2017/3期 5月予想	対5月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
都市交通・沿線事業	261	252	+ 3.6%	258	+ 0.8%
ホテル・レジャー事業	130	114	+ 14.0%	206	△ 37.0%
不動産事業	65	55	+ 18.2%	145	△ 55.3%
建設事業	45	32	+ 40.6%	36	+ 21.8%
ハワイ事業	35	11	+ 218.2%	△ 8	-
その他	5	5	+ 0.0%	10	△ 53.9%
調整額	-	15	△ 100.0%	9	△ 100.0%

セグメント別 償却前営業利益

	2017/3期 通期予想	2017/3期 5月予想	対5月予想 増減率	2016/3期 実績	対前期 増減率
都市交通・沿線事業	470	463	+ 1.5%	467	+ 0.6%
ホテル・レジャー事業	260	246	+ 5.7%	320	△ 18.9%
不動産事業	148	140	+ 5.7%	187	△ 21.1%
建設事業	49	36	+ 36.1%	40	+ 21.0%
ハワイ事業	56	32	+ 75.0%	12	+ 354.2%
その他	32	32	+ 0.0%	36	△ 13.3%
調整額	△ 10	6	-	1	-

(注) 金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。